

令和7年度 全国学力・学習状況調査結果について

全国学力・学習状況調査 南相馬市調査結果（令和7年度）

全国・福島県・市内小学6年生の平均正答率（%）

国語・算数・理科（平均正答数/設問数）

	国 語	算 数	理 科
全 国	6 6 . 8	5 8 . 0	5 7 . 1
福島県	6 5	5 5	5 6
南相馬市	6 1	5 6	5 2

南相馬市立大甕小学校 全国学力・学習状況調査分析

- 1 実施日 令和7年 4月17日（木）本体調査
- 2 調査対象 第6学年児童（22名）
- 3 調査内容 （1）教科に関する調査（国語、算数・理科）
（2）学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問調査

4 調査結果（○成果 ●課題）

（1）教科に関する調査

国語 ○目的や意図に応じて、自分の考えを書いたり書き方を工夫したりすること

●文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること

算数 ○小数や分数の加法・減法を正確に行う知識・技能

●求めたい数量や大きさを、式や言葉を用いて記述すること

理科 ○植物のつくりや水の性質など、学習内容に関する知識や技能

●実験方法や実験結果から、差異点や共通点を見出し、表現すること

（2）児童・生徒質問調査

○規則正しい生活習慣、「人が困っているときは、進んで助けていますか」

●「算数の勉強は好きですか」、「読書は好きですか」

5 学力向上の取り組み

今回の調査結果では、国語科においては「思いや考えを的確に整理し、根拠をもって伝え合う力」、算数科においては「数量や図形の関係を正しく捉え、言葉や式で説明する表現力」、理科においては「観察や実験を基に課題を見だし、自分の考えを筋道立てて表現する力」に課題が見られました。いずれも「思考力・判断力・表現力」に関わる点で課題が見られました。そこで、本校では今後、次の点について重点的に取り組んでまいります。

- ・ 国語科の学習では、読んだ文章の構成や筆者の意図を捉える力を育てるための丁寧な読み取り指導の充実をめざすとともに、学習した内容を整理・関係付けながら、自分の考えをわかりやすく表現する学習の工夫に取り組む。
- ・ 算数科の学習では、問題を解くだけでなく、考え方や解き方を言葉や式で説明する活動を日常的に取り入れるとともに、どのように考えたのか、なぜそのように解いたのかを振り返り、自分の言葉で表現する力を身に付けさせる。
- ・ 理科の学習では、実験や観察を通して「なぜ？」と考えられる教材・教具の充実を図るとともに、疑問をもとに課題を見出す活動を充実させ、考察の場面では、理由を明確にしながら自分の考えを言葉で表現する機会を設定することで、「考える力」「伝える力」を身に付けさせる。

6 保護者（や地域）の皆様へ

児童の学習環境・生活環境づくりについて、次の点でご協力をお願いします。

- 生活習慣について：早寝早起き朝ご飯の推進、お手伝いの励行
- 読書活動について：家庭で読書する習慣づくり、親子読書の推進